

日本共産党
流山北部後援会

ニュースあすなる

2019年8月
第246号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
小倉 卓郎
TEL/FAX
7155-0272
(部内資料)

新体制で決意表明

住民と議員が協力して運動へ

植田和子 議会報告会

8月7日

(水) 北部公民館で定例の植田和子議会報告会が行われました。市議会議員選挙後初めての報告会なので冒頭植田議員から支援への感謝の挨拶がありました。議会報告に入る前に地域のウォッチングの報告がありました。詳細を2



面に掲載します。議会報告に移り、植田和子議員はまず新体制について報告。4つある委員会の委員長に選出された区画整理、道路整備、上下水道などの議案審査ほか、三郷市と結ぶ江戸川新橋の協議会の委員にもなり、多忙だが頑張ると決意を表明。

④市は公民館の運営を指定管理者に任せているが、使用登録団体に名簿提出を求め、全員の氏名住所電話などまで書かせているところがある……と質したところ、当局は電話や番地までは求めない様式にしたはずだが徹底していなかったと不手際を謝罪した。

参加者の質問意見交換

「流山」は国に追随して保育を民間に任せようとしているが、知人は5か所

ご支援有難うございました

①防災対策として南海トラフ地震への備えを問うが、市は東京湾の地震対策は策定しているが、南海トラフは遠いので対策していないと。

「原発のあるところの問題だから、情報収集もしていない」。

③流山の保育待機児童は国基準で42人、潜在待機児童は206人もいる。計画が追い付いていない。

千葉県市民連合の推薦を受け、かつてない市民との共同の闘いで、議席

再稼働やめ 原発から撤退を!!

あすなる後援会ニュース読者の皆さん。先の参議院選挙では、日本共産党と浅野ふみ子へのご支援をお寄せいただき、ありがとうございました。

「ニュースあすなる」読者の皆さん、参議院選挙でのご支持、協力誠にありがとうございました。

北会長 小倉卓郎
深井会長 菊池伍郎

こんにちは 植田和子です



8月14日 残暑の見える6月議会中に参議院選挙が始まり、終わったと思ったら今度は柏の市議選と、今年は4月の統一地方選挙から、ずーっと選挙づくしの8ヶ月でした。お盆に入ってから家族団らんのおとことき、ホッとしたかと思ったら、今度は、超大型台風が日本を直撃するとは……。

日本列島のあちこちで大災害に見舞われることが増えた今、流山市は大災害には遭わない、大丈夫だなんて、言えません。お過ごし下さい。

これまで一度も、地震を中心とした防災対策を議会で取り上げてきませんが、大災害に見舞われた歴史をいろいろ調べて思うことは、いつも『想定外』ということでした。科学の進歩と研究者の努力で数百年、数千年の自然災害が明らかにされつつあります。それを謙虚に学ぶ姿勢がとても大事な時期に来ているのだと思います。

これからも、みなさんと一緒に防災対策の強化に取り組みしていきます。台風が過ぎ去っても、猛暑は続くこのことです。みなさん、体調にはくれぐれも気を付けて、身の安全確保もしながら、お過ごし下さい。

3分の2割れにすることができ、野党共闘の大成果です。

引き続き「減らない年金」、消費税増税中止、暮らしに希望の3つのプラン、改憲ストップの公約実現に全力をあげます。

2019年7月
日本共産党
千葉県委員会副委員長
浅野ふみ子

ヘッドライト

ドルが急落している。米中の対立で景気後退の危険。株取引をしている人はもちろんのこと、だれもが不安になっている。流山ではマンションがどんどん建っているが、パブル崩壊の二の舞を懸念する声は強い。しかし政府は消費増税にまっしぐら。そこに複数税率を始める。軽減税率という「批判軽減」税率だ▼店内飲食は10%、持ち帰りは8%。客の意向を聞いてレジを打つ。同じものを買っても税率が違うので単純にレジ処理ができない。

それでも消費増税

「軽減税率対応」のキャンペーンをしきりに流す。レジスターのメーカーは時ならぬ需要だ▼食料品は無税とかいう複数なら理解できる。しかし明らかに政治的な配慮による宣伝のための矛盾した税制。現場での混乱困惑が予測され、税理士の8割は心配している。こんご消費者側も新たな対応をするだろう。「混雑した店の中で食べるより、宅配、出前の方が安いぞ」「店の外ならいいでしょ。立ち食いだ」。消費増税は日本経済を破壊する。

